



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 魚喜

コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 有吉 喜文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 西山 武

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	9,615	△1.3	21	△3.6	18	13.0	9	—
27年2月期第3四半期	9,741	△2.9	22	—	16	—	△16	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 17百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	3.84	—
27年2月期第3四半期	△6.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	2,652	411	15.5	161.21
27年2月期	2,715	394	14.5	154.40

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 411百万円 27年2月期 394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△0.1	202	0.6	195	1.5	130	1.4	50.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期3Q	2,555,856 株	27年2月期	2,555,856 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	2,061 株	27年2月期	2,061 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期3Q	2,553,795 株	27年2月期3Q	2,553,795 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年3月1日から平成27年11月30日まで）におけるわが国経済は、政府や日本銀行による経済政策・金融政策の効果もあり、緩やかな回復基調にあるものの、新興国をはじめとする海外経済の減速、円安による輸入原材料価格の引き上げなどの不安材料が存在し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。個人消費に関しては、雇用情勢の改善により個人消費の持ち直しが一部見られるものの、物価上昇や更なる消費税引き上げの懸念などから消費者の生活防衛意識がさらに高まり、生鮮食品をはじめ食品全般に対する節約志向・低価格志向はいまだに根強く続いております。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まる一方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて世界的規模の需要増や円安により、魚介類の仕入価格は依然として上昇傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、お客様のニーズを満足させる付加価値の高い商品を開発し、その新商品を中心とした商品MDの導入やお客様にとって見やすい買いやすい魅力ある売場づくりなど、既存店舗の強化を最優先事項として取り組んでまいりました。また、利益確保が見込める優良物件への新規出店（鮮魚2店舗）及び不採算店舗等の退店（鮮魚8店舗）をいたしました。経費面では仕入効率化による原価率の低減、並びに従業員1人当りの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の削減を積極的に推進いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社の売上高は前年同四半期比1.3%減の96億15百万円、売上総利益は前年同四半期比1.2%減の39億44百万円、営業利益は21百万円（前年同四半期比3.6%減）、経常利益は18百万円（前年同四半期比13.0%増）、四半期純利益は9百万円（前年同四半期は16百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（鮮魚事業）

鮮魚事業の売上高は、86億69百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。セグメント利益は、既存店の強化や原価率の低減、出退店施策及び経費削減が奏功し、3億86百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

（飲食事業）

飲食事業の売上高は、7億42百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、セグメント利益は6百万円（前年同四半期比39.5%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の売上高は、2億20百万円（前年同四半期比10.0%増）となり、セグメント利益は48百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、26億52百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ92百万円減少して17億51百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ30百万円増加して9億円となりました。

（負債）

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少し、22億40百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少して16億53百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ65百万円増加して5億87百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、4億11百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期通期業績予想につきましては、平成27年4月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	896,289	838,188
売掛金	629,738	573,212
商品	139,052	179,039
貯蔵品	13,532	12,035
その他	166,338	149,633
貸倒引当金	△586	△522
流動資産合計	1,844,365	1,751,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	641,579	648,653
減価償却累計額	△508,807	△498,326
建物及び構築物(純額)	132,772	150,326
工具、器具及び備品	824,943	774,400
減価償却累計額	△717,249	△604,285
工具、器具及び備品(純額)	107,693	170,115
土地	389	389
リース資産	36,707	35,077
減価償却累計額	△12,978	△16,927
リース資産(純額)	23,729	18,150
有形固定資産合計	264,584	338,982
無形固定資産		
リース資産	6,564	3,447
その他	17,571	18,011
無形固定資産合計	24,135	21,459
投資その他の資産		
投資有価証券	104,350	109,394
敷金及び保証金	456,947	412,042
その他	20,796	18,963
投資その他の資産合計	582,093	540,400
固定資産合計	870,813	900,841
資産合計	2,715,179	2,652,428

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	863,663	526,607
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	117,140	138,288
リース債務	11,462	8,938
未払金	147,174	242,690
未払法人税等	30,895	25,219
賞与引当金	16,516	1,574
資産除去債務	3,499	—
その他	408,555	310,293
流動負債合計	1,798,907	1,653,611
固定負債		
長期借入金	302,828	381,664
リース債務	22,013	15,271
長期預り保証金	117,619	111,494
繰延税金負債	17,423	18,599
資産除去債務	59,184	57,724
負ののれん	2,909	2,363
固定負債合計	521,978	587,117
負債合計	2,320,885	2,240,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,031	941,031
資本剰余金	1,029,015	1,029,015
利益剰余金	△1,600,313	△1,590,495
自己株式	△5,456	△5,456
株主資本合計	364,277	374,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,017	37,605
その他の包括利益累計額合計	30,017	37,605
純資産合計	394,294	411,700
負債純資産合計	2,715,179	2,652,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	9,741,941	9,615,352
売上原価	5,751,053	5,671,010
売上総利益	3,990,887	3,944,341
販売費及び一般管理費	3,968,187	3,922,463
営業利益	22,700	21,878
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	1,370	1,569
受取手数料	3,327	5,281
負ののれん償却額	545	545
その他	1,382	3,613
営業外収益合計	6,636	11,024
営業外費用		
支払利息	11,711	12,580
その他	883	1,409
営業外費用合計	12,594	13,990
経常利益	16,742	18,912
特別利益		
固定資産売却益	905	1,216
固定資産受贈益	—	8,078
違約金収入	2,634	—
長期預り保証金精算益	—	5,900
保証金等返還益	—	6,300
投資有価証券売却益	—	10,700
特別利益合計	3,539	32,195
特別損失		
固定資産売却損	47	—
固定資産除却損	986	1,692
店舗閉鎖損失	1,025	426
減損損失	3,411	3,599
和解金	—	4,079
特別損失合計	5,471	9,798
税金等調整前四半期純利益	14,810	41,309
法人税、住民税及び事業税	31,719	31,572
法人税等調整額	△273	△80
法人税等合計	31,446	31,491
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,635	9,817
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,635	9,817

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△16,635	9,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,674	7,588
その他の包括利益合計	12,674	7,588
四半期包括利益	△3,960	17,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,960	17,405
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,804,228	754,168	183,544	9,741,941	—	9,741,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	16,907	16,907	△16,907	—
計	8,804,228	754,168	200,451	9,758,848	△16,907	9,741,941
セグメント利益	356,806	10,155	44,187	411,149	△388,449	22,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△388,449千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△387,981千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

鮮魚事業セグメントにおいて、閉店が確定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,411千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,669,723	742,156	203,472	9,615,352	—	9,615,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	16,963	16,963	△16,963	—
計	8,669,723	742,156	220,436	9,632,316	△16,963	9,615,352
セグメント利益	386,744	6,144	48,542	441,431	△419,552	21,878

(注) 1. セグメント利益の調整額△419,552千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△418,288千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

鮮魚事業セグメントにおいて、閉店が確定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,599千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。